

令和6年度延岡ITカレッジ（事業者及び求職者を対象としたデジタル研修）事業業務委託

プロポーザル審査基準

評価項目		評価基準	配点
1	業務内容、 実施手法	研修プログラムの構築にあたり、業務の趣旨及び目的を十分に理解したうえで、市内事業者の業種や、本市の産業構造等を理解し、市内事業者におけるデジタル化に向けた様々な課題や改善点を的確にとらえ、関係機関と連携を図りながら、DX 推進のための人材育成につなげることができる提案となっているか。	60
		IPA 及び経済産業省策定「デジタルスキル標準」の視点が盛り込まれており、受講者のニーズを的確にとらえ、IT スキル向上の達成が可能な提案になっているか。	
		事業者コースのカリキュラムの内容について、本事業が、事業者の実課題をデジタル技術をもって解決することを目的としたものであることを踏まえたうえで、その課題の抽出手法や課題解決手法について、有効性・実現性が高いプログラムを構築し、受講生への十分な支援が期待できるものであるか。	
		求職者コースのカリキュラムの内容について、IT スキル習得のほかに、事業者コースの実課題解決に、求職者コースの受講者が取り組む仕組みが構築されており、受講生への動機づけや問題意識を醸成するものであって、実課題の解決又はその他実際のビジネス課題に対応したシステム開発形成を図れるプログラムが盛り込まれたものであるか。また、市内企業への就職支援を平行して実施するものとなっているか。	
		受講生の募集に際して、事業者コースの応募者が、本事業を受講することで、自社にとってのメリットや修了後をイメージできる情報を、効果的に発信できるものであるか。	
2	業務実施体制 ・遂行力	円滑に業務を遂行するために必要な組織体制、人員配置となっており、学習の進捗管理を可視化し、進捗管理や習熟度の把握、各カテゴリーにおける補講や相談等の実施など、受講生のフォロー体制が十分整えられているか。	25
		同種又は類似業務の実績やノウハウはあるか。	
		実現性（実効性）がある提案になっており、各研修における到達点を達成するための、適切なスケジュールとなっているか。	
3	事業者の意欲、熱意、他	業務に対する取組意欲が高く、熱意が感じられるか。また、独自の提案がなされているなど、その他評価できる点があるか。	10
4	見積額	委託上限額の範囲内で少しでも低額となっているか。	5